

湯本幼児学園園だより

りずむ

令和7年3月24日

◎箱根一貫教育の合言葉

『箱根を愛し

かしこく やさしく たくましく』

◎湯本幼児学園個性化目標

『異年齢保育を生かした園づくり』



卒園組
はーと組
砂場の
道具置き場

卒園式(3/24)

本日、12名の年長児(はーと組)の子どもたちが巣立ちました。

1ダースの色鉛筆がそれぞれの色を織りなし、1つの綺麗な絵になるようなクラスでした。

友達と一緒に刺激し合いながら、チャレンジ⇒頑張る・粘る⇒できるの繰り返しで達成感を味わいながら成長していった年長組での1年間でした。3学期になると毎日ドッジボールで遊び、投げる・取るの技を磨き、上達していく自分が嬉しく、さらに勝つために友達と作戦を練る！とても楽しそうでした。

お別れ遠足は自分たちで行きたい場所ややりたいこと、電車の時刻などを調べて行程を決め、当日はうきうきわくわく感がマックスでたまらなく楽しい1日だったようです。

そんな笑顔あふれる湯本幼児学園での日々がいつまでも思い出として残っていると良いと思います。友達をたくさん作って支え合って大きくなってほしいです。



こびとづかんの世界・第2弾



2月の終わりに3、4歳児から5歳児へ『ありがとうかい(お別れ会)』を開きました。4歳児・きりん組はこびとが隠れている『こびとやしき』=こびとをみつけるウォークラリーを作り、5歳児・はーと組を招待したり、歌やダンスを踊ったり、プレゼントを渡したり…感謝の気持ちを伝えると共に一緒に遊びました。

その後何度も、河津桜を見に河川敷へ行ったり、神社へ行ったり園周辺へ散歩に出かけ、(仕掛けた)こびとを見つけ、わくわくドキドキ想像の世界を楽しんでいました。

こびとづかんの遊びを通して、こびとを調べること、想像すること、友達と協力して試行錯誤し納得いくものを作り上げること、コミュニケーションをとることなどたくさんの楽しさを味わい、それを共有する友達がいることのありがたさを感じ、非認知能力がぐんぐん育ちました。個性化目標『異年齢保育を生かした園づくり』が実践できた1つの事例と実感しています。

きりん会議

園では、日頃発生する小さな事件・トラブルや誕生会のプレゼントのこと、明日遊びに使うものなど、様々なことを子どもたちは日々話し合っています。4歳児・きりん組では、お別れ会や卒園式など『きりん会議』と題して、話し合いを深めています。それがとても面白く、「〇〇やりたい」「こんなことはどうかな」とはじまり、「じゃあさ、ぼくたち〇〇つくるから、〇〇ちゃんはこのをして」「それは明日話し合って決めようよ」「ちいさい子も呼びたいからこれじゃ足りないんじゃない」大人さながら見通しをもって計画的に遊びを進めていこうとするのです。4歳児と言ってもほとんどの子どもたちが5歳となり、この頃になると周りが見えてきて、友達のことを考えて行動したり、思いをめぐらせて最善の策を考えたり、思考力がぐんと育ちます。

そばで微笑んでみている今日この頃です。



1年間ありがとうございました

令和6年度の保育も無事終わることができそうです。保護者の皆さまはじめ、地域の方々、小学校の先生・子どもたち、社会福祉協議会の皆さまなど、園運営にご理解・ご協力いただき、感謝申し上げます。今後ともよろしくお願いいたします。

マチコミ廃止について

令和7年度からは、完全にコードモンへ移行するためマチコミを廃止します。

ICT化にご協力ありがとうございます。